



第62回
全国保育問題研究集会
仙台集会

よーいっかーい！
速報
六号

集団づくりD

あそび

いろいろの方の実践を聞くことで、改めて自分自身が
保育を楽しんでいましたと思えました。

一言で「あそび」として、「あそび」とは何なのか、子どもは
何を楽しんでいるのか、どんな遊びがあるのか、それを考え、
知ろうとし、子どもと一緒に楽しむのが保育とあそび。ふたつ
が「あそび」であり「保育」なのだと感じることができました。
楽しい時間をありがとうございました。

参集した分科会から
感想が届きました!!

今回はハイブリッド開催ということでしたが、会場の方も提案の話に対して
様々な反応をしてくれて、発表するこちら側もその空気感をリアルに
感じることができるところで、自然と緊張もとけて、マイクの前で
対面という形、そしていい感じの時間になりました。
Zoomで参加の方達も活発に意見を質問を下さり、全国の保育に携わる
人たちがここに集まるのも、実行委員、運営委員の方々の力があってこそだと
思います。これらの準備等ありがとうございました。貴重な時間を本当に
ありがとうございました！ 仙台最高です!!

お名前 香木 (ニックネーム可)
所属保問研 三重保問研

感想用 QR

お名前 竹内 友理 (ニックネーム可)
所属保問研 信州保問研
全国集会参加回数 (初めて) 2~4回・5回以上

感想用 QR



障害児

やはり対面で実践を(聞けるのはいいなあと思っていて、
講師の表情なども(Zoomでは伝わらぬ)子どもや
保育士の思いを受け取りやすかったです。

自分の保育で抱える課題なども共感していただき
ました。視座をわらうことで(同僚や他機関)
言葉(カード)をいかに伝えるか対面から
では...と感じていました。

お名前 1号-ちやん (ニックネーム可)
所属保問研 東京

感想用 QR



▼公式 Twitter! ▼

感想用 Google フォーム



閉会あいさつ

仙台集会は晴天のうちに閉会を迎えることができました。今大会開催に向けて数多くの方々にご協力・ご尽力を賜りました。また、1500名超のみなさまが、対面で（約300名）、オンラインで（約1200名）、参加してくださいました。心より感謝申し上げます。

先週末より、台風2号による影響が心配されてきました。交通手段の混乱により、来仙にご苦労された方、参加を見送られた方がいらっしやうと聞いています。西日本や東海地方からは大雨や土砂災害による悲報が伝えられています。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

仙台集會実行委員会が立ち上がったのは4年前のことでした。パンデミックによる中止や延期を余儀なくされました。しかし、東京や京都の集會実行委員会の頑張りに鼓舞され、常任委員会のご支援や全国からの励ましに支えられてきました。仕切り直しを重ねながらも、繋がりの中で準備に携わる恵みを覚えました。

今回は特に対面+オンライン+オンデマンドの〈ハイブリッド開催〉に挑戦しました。ICT（Information and Communication Technology）のサポートで、参加者の裾野を広げることができました。その一方で、対面で学び合い議論を深めていく意義を再確認しました。時間と空間を共有することで眼差しが交錯する。息づかいや身ぶり手ぶりが同調する。集う者同士の共感性や思考の深まりを実感しました。お互いの脳波が同期しているかのようなようでした。その他にも、書籍物品販売コーナーの賑わい、お弁当に並ぶ列、そこかしこで飛び交うお国言葉等、全国集會ならではの光景が垣間見られました。思わぬ再会や新たな出会いもあったことでしょう。

震災から12年。あの日を忘れず、私たちは日々努力してきました。自然災害、戦争や紛争、貧困、犯罪等々、暮らしを脅かす現実はいとまがありません。しかし、子どもという希望を託されている私たちは、人権が尊ばれる平和で民主的な社会を実現する「命の守り手として生きる」決意を新たにしています。「人と人との繋がりの中で育ち合うことの喜びをたしかめる」営みとして、保育活動に力強く邁進していきたいと存じます。仙台集會の学びを次期開催地の北海道に繋げ、保問研活動の発展を期していきましょう。

仙台集會実行委員長 佐藤 哲也

次回開催地

北海道からメッセージが届いています。

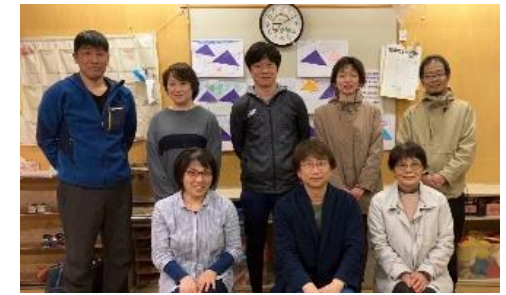
今回は日曜1日だけの参加でしたが、私にとっては初めての対面集會となりました。参加した異年齢分科会では、昨日の提案を受けて「子ども理解と大人の振る舞い」「暮らしと保育」「異年齢保育入門」という3つのテーマで分散交流をしました。時間があつという間で、研究者としても更に考えていきたいアイデアのタネを沢山もらいました。

仙台集會実行委員会のみなさんには、日々の生活の大変さがある中で、このように素敵な集會を開いてくださり、感謝申し上げます。

そして、仙台からのバトンを受け継ぎ、来年は北海道での全国集會となります。実行委員長である私を含め、集會開催に不慣れなメンバー多数ですので、全国の遠友からのエールをお願いいたします。

くればいっしょ、北海道へ！

川田 学(北海道保問研・北海道大学)



～閉会集會が終わりました！～

感謝を込めて
「荒馬踊り」

未来へ向かって
飛んでいけ！
「紙飛行機」

力強く！
集會宣言

次回開催地
北海道からの
アピール

事務局長挨拶

心あわせて歌った
♪「空より高く」

ご参加のみなさん、ありがとうございました！
閉会集會の詳細内容は、速報号外にて！そして、録画配信もぜひご覧下さい。
配信期間は、6月4日(日)～7月2日(日)です。